

【開催レポート】DMM.make AKIBA 5周年記念イベント「THE SHIFT」を開催～ビジネスデザイナー 濱口秀司氏/DMM.com 亀山会長/坂之上 経営ストラテジスト 登壇～

合計200名以上が参加し交流

DMM.com CxO陣、ゲストが登壇しトークセッションを実施

登壇スタートアップ全企業が“商談決定”を獲得

合同会社DMM.com（本社：東京都港区、会長兼CEO 亀山敬司、<https://dmm-corp.com/>）

以下DMM）は、秋葉原に構える総合型モノづくり施設・プラットフォーム「DMM.make

AKIBA」（<https://akiba.dmm-make.com/>）

）が2019年11月11日（月）に5周年を迎えたことを記念し、11月27日（水）・28日（木）に、記念イベント及び懇親会をDMM.make AKIBAにて開催いたしました。本イベントは、5周年を迎え新たなステージへの変革として「THE SHIFT」をテーマに、2日間にわたってDMM.make AKIBAの会員およびメディア向けに開催されました。

会員約130名の会員が交流

会員に向けて今後の方針を語る大沼 事業部長

初日は約130名の会員が参加し、2019年1月から11月までの間に、DMM.make AKIBAの利用を開始したスタートアップ企業や法人の一部が自己紹介を兼ねたプレゼンテーションを実施。5周年を機に新たに設けられた「モノづくりに新しい道を
コトづくりで新たな価値を」というスローガンのもと、DMM.make AKIBAが、施設や設備、コミュニティだけではなく、さらに重点的に強化する「マッチング」のきっかけづくりを目的としたコンテンツとなりました。5年間で初となる会員限定イベントは記念ケーキの登場で大盛りあがりの中、閉幕しました。

「DMM.comは挑戦し続ける」DMM.comとDMM.make AKIBAのこれから

DMM.comの挑戦について語る市村 執行役員

DMM.make AKIBAの展望を語る大沼 事業部長

2日目にはDMM.make AKIBAについての紹介と今後の展望を発表しました。DMM.com 執行役員 経営企画室長 / ビジネスプランニング本部長 市村 昭宏は「DMMの今後とAKIBAのポジション」について、「DMM.comとして、現在展開している40以上の事業でさらなるシナジーを生み出し、プラットフォームの価値最大化を目指していく。さらに、DMM.comの“挑戦し続ける”という姿勢のもと、新規事業に取り組んでいます。『DMM WEBCAMP』ならびに『DMM MARKETING CAMP』、『DMM VENTURES』、『42東京』とともに『DMM.make AKIBA』は、まさしくその役割を果たす重要な存在です。今後はさらにベンチャーや企業と一緒に挑戦するエコシステムをつくっていく取り組みを行っていきます」とコメント。

DMM.make AKIBA事業部 事業部長 大沼 慶祐は、DMM.make AKIBAの事業について説明するとともに、「この5年間で多くの方にご利用いただいて成長してきた。現在は国内外の政府系機関、施設とパートナーシップを結んでいるが、川崎市、加賀市との提携を皮切りに、新たにエリアパートナー制度として地方自治体との連携を通して、これまで培ってきたノウハウを地域社会へも還元していきたい。次の5年間に向けてさらに進化していくのでこれからのDMM.make AKIBAに注目してほしい」と呼びかけました。

村中COO・松本CTOによるスペシャルセッション ~ 激変するテック領域で起業するには ~

スタートアップの企業について語る(左から)村中COO、松本CTO、ユカイ工学 青木 氏

スペシャルセッションでは、「激変するテック領域で起業するには」をテーマに、DMM.com最高執行責任者（COO）村中 悠介 / 最高技術責任者（CTO）松本 勇気と、スペシャルゲストにかつてDMM.make AKIBAで活動していたユカイ工学 株式会社 代表 青木 俊介氏によるトークセッションを行いました。村中COOは「これだけモノが飽和してきている中でスタートアップが大きく成長することは難しくなった一方で起業はしやすくなったのでは」と、指摘しました。それを受け、松本CTOは「スタートアップとして単体で経営を継続することは難しくなっているのではないかと思う。スタートアップが継続性のある事業を立ち上げることはできるが、多くの資産を持った大企業が一気に市場を取りに行くともある時代になっている。その一方で大企業は築いてきた“仕組み”があることで新しい“仕組み”で動くことは難しい。そのためスタートアップと大企業が手を取り合うことが大事。DMM.make AKIBAのような施設もあるのでマッチングして事業を起こせる可能性が高まっているのではないかと思う」と、コメントしました。

登壇スタートアップ全5社が“商談決定”！「Game Changers’ Meetup」

「Game Changer s Meetup」の様子

「Game Changer s Meetup」と題しDMM.make

AKIBA会員企業である株式会社Pyrenee、株式会社 HERBIO、株式会社 ビースー、株式会社 東京、ピノベーション 株式会社の計5社が登壇し、DMM.com 村中、松本、市村、ゲスト審査員で構成された審査員との商談をかけたプレゼンテーションを行いました。日々の健康を見える化するIoT尿検査装置を展開する株式会社ビースーのピッチでは5名の審査員全員から“商談決定”の札が上がるなどの盛り上がりを見せた結果となりました。その他の企業でも今後の事業展開に期待を寄せられる声が聞かれ、全5社とも商談を獲得しました。

ビジネスデザイナー 濱口 秀司/ DMM.com会長 亀山 敬司/経営ストラテジスト 坂之上 洋子登壇 スペシャルセッション「スタートアップ・新規事業の成功キーファクター」

(左から)坂之上 顧問、濱口 氏、亀山 会長

さらに、ビジネスデザイナー 濱口 秀司氏を招き、DMM.com会長 亀山

敬司、モデレーターに経営ストラテジスト 坂之上洋子が登壇し、「スタートアップや新規事業の成功確度を高めるためのキーファクター」というテーマでトークセッションを行いました。濱口氏は「“変態”であることが大切。学校で習っているようなことをやってもみんな同じことをやることになる。成功するには人と違うことができる“変態”が必要。」と指摘しました。大企業ほど新規事業に大きな利益が求められる風潮にあるという議題に対し、亀山会長は「とりあえず、やらせてみるのが大事。はじめの段階はいくらか予算を設けて少しずつ広げていく。自分があまり理解できない分野でも投資できないと伸びていかないし、まずは金額ではなくやらせてみることも重要だと思う」と、自信の考えを語りました。それを受け濱口氏は「亀山会長はかなり新しいタイプ。やってみないと分からないと確率ベースで経営している人は見たことがない。また、“調子に乗って”大きく考えることも大切。成功して調子に乗ると今までと違う視点で物事を見ることが出来る」と語ると、会場は感心した様子で頷きながら耳を傾けていました。

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

合同会社DMM.com DMM.make AKIBA広報：真島・小山

TEL：03-5298-5317（連絡可能時間帯：平日10:00～18:00）

E-MAIL：press@akiba.dmm-make.com